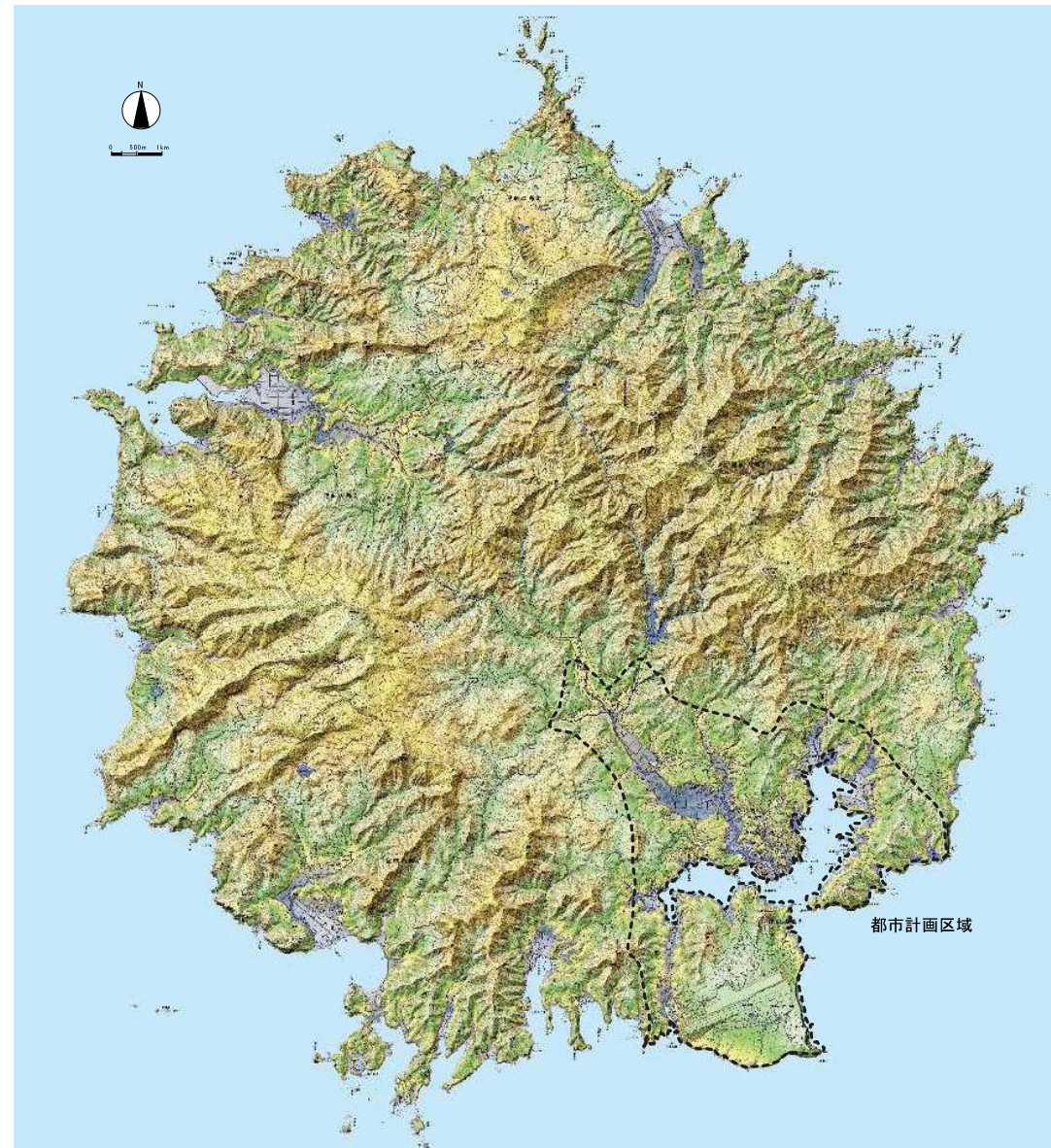


**令和2年度
隠岐の島町都市計画審議会**

**令和2年12月22日 9:00から
隠岐の島町役場2階会議室201**

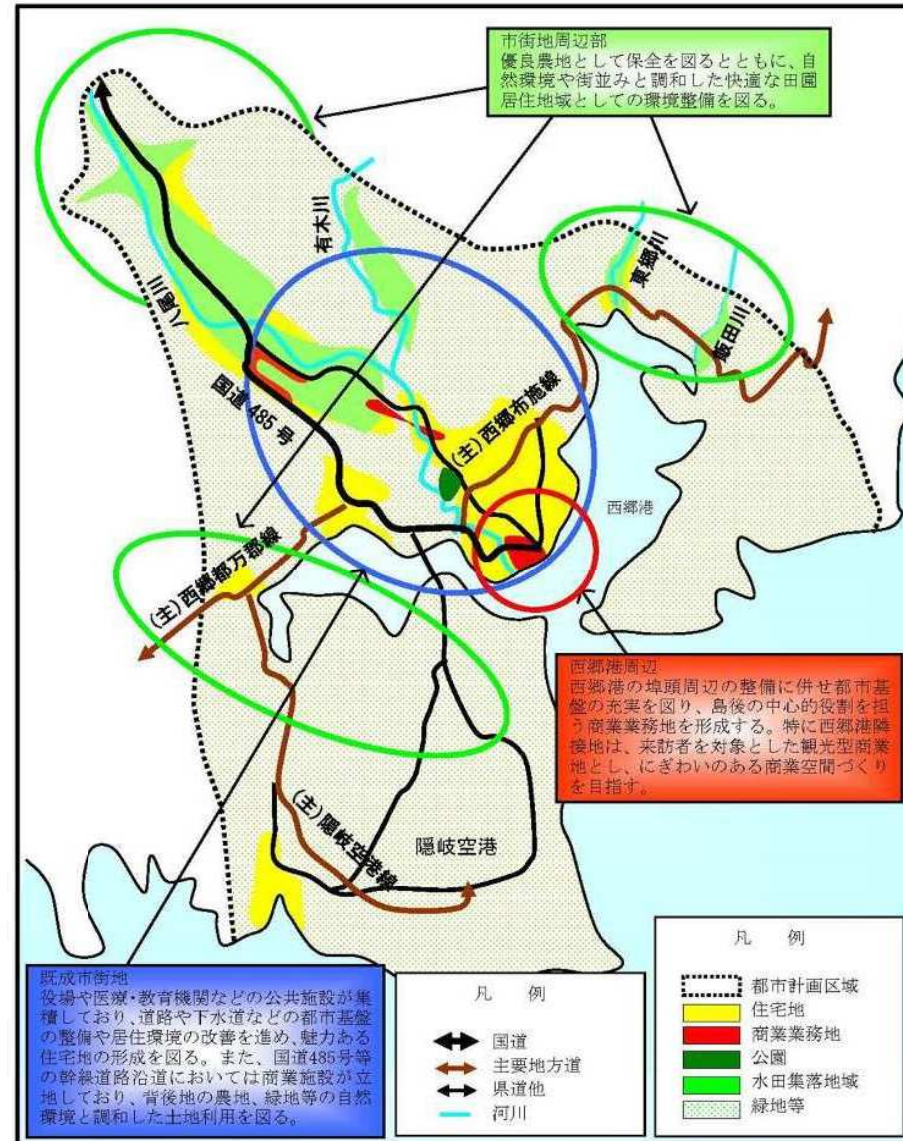
【立地適正化計画の策定について】

資料1



西郷都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成30年3月）島根県

■都市構造図



隠岐の島町

【都市の現状と計画策定の必要性】

1. 立地適正化計画の位置づけ

上位計画

第2次
隠岐の島町総合振興計画

西郷都市計画マスタープラン(島根県)

立地適正化計画

関連計画

第2次隠岐の島町観光振興計画

隠岐の島町ゾーニング計画

隠岐の島町中小企業・小規模企業振興計画

隠岐の島町地域公共交通計画

隠岐の島町地域防災計画

理念と方針を反映

都市再生整備計画(策定予定)

▶ 西郷港玄関口活性化の整備
理念と方針を反映

西郷港玄関口まちづくり計画

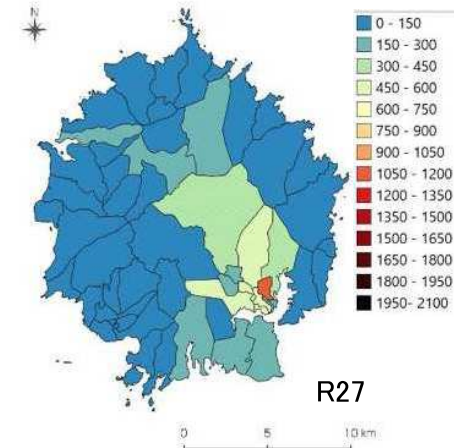
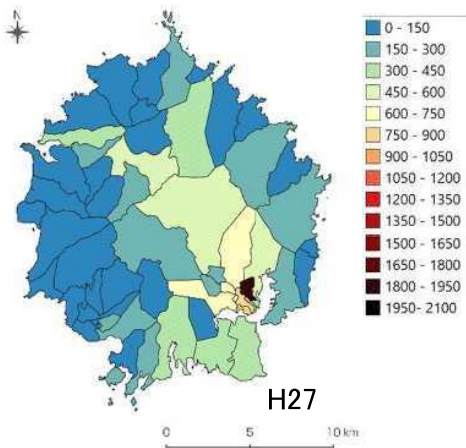
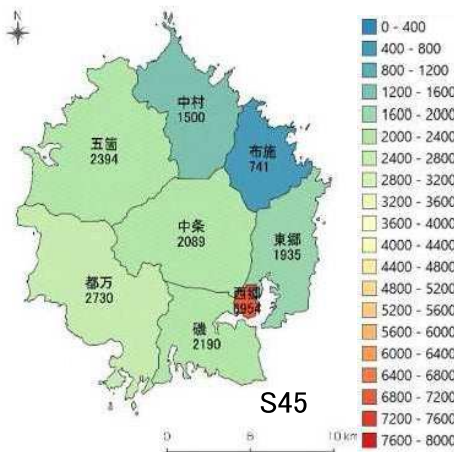
西郷港玄関口まちづくり構想

にぎわい・防災にむけた取り組みの継続

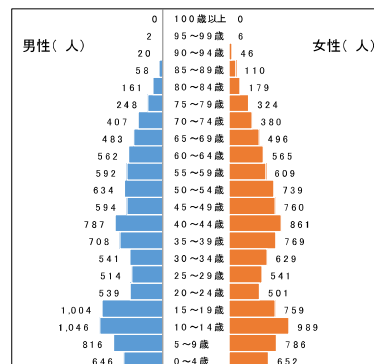
2. 隠岐の島町の現状 <人口>

資料)国勢調査

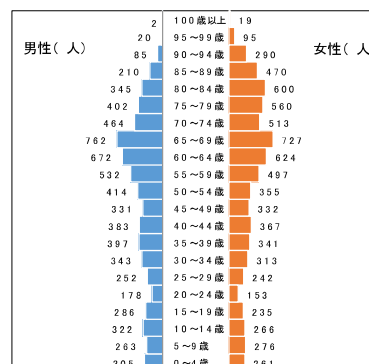
町全体の人口は、全体的に減少し、**都市計画区域内の一部に**、人口の多い地域が残る。



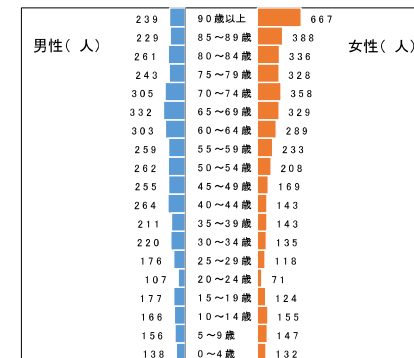
S45年
総人口 20,533人



H27年
総人口 14,608人



R27年
(社人研の推計人口)8,172人



R42年
(社人研の推計人口)
5,857人

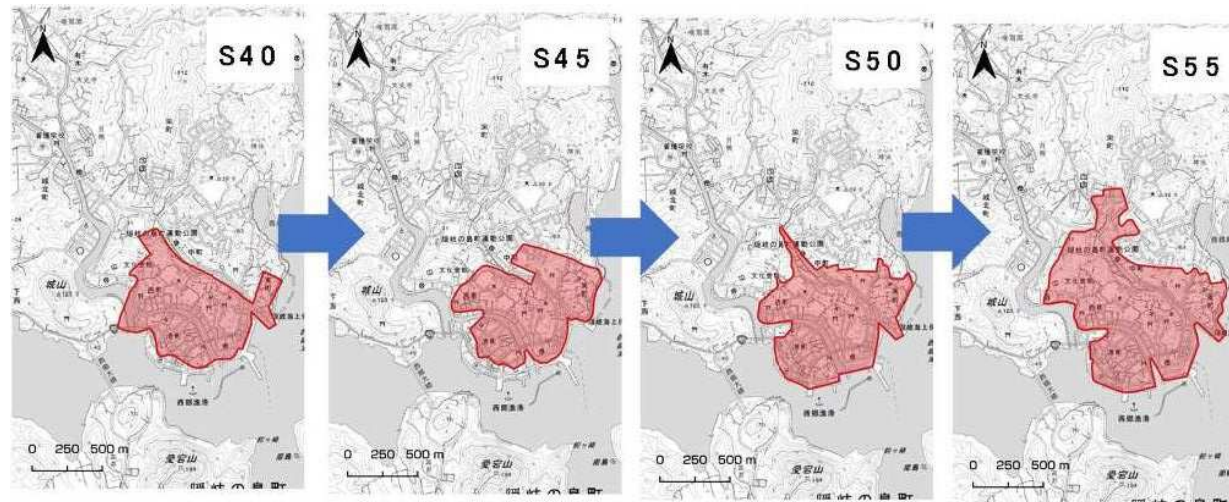
R42年の目標人口
10,000人以上

3. 隠岐の島町の現状 <人口集中地区>

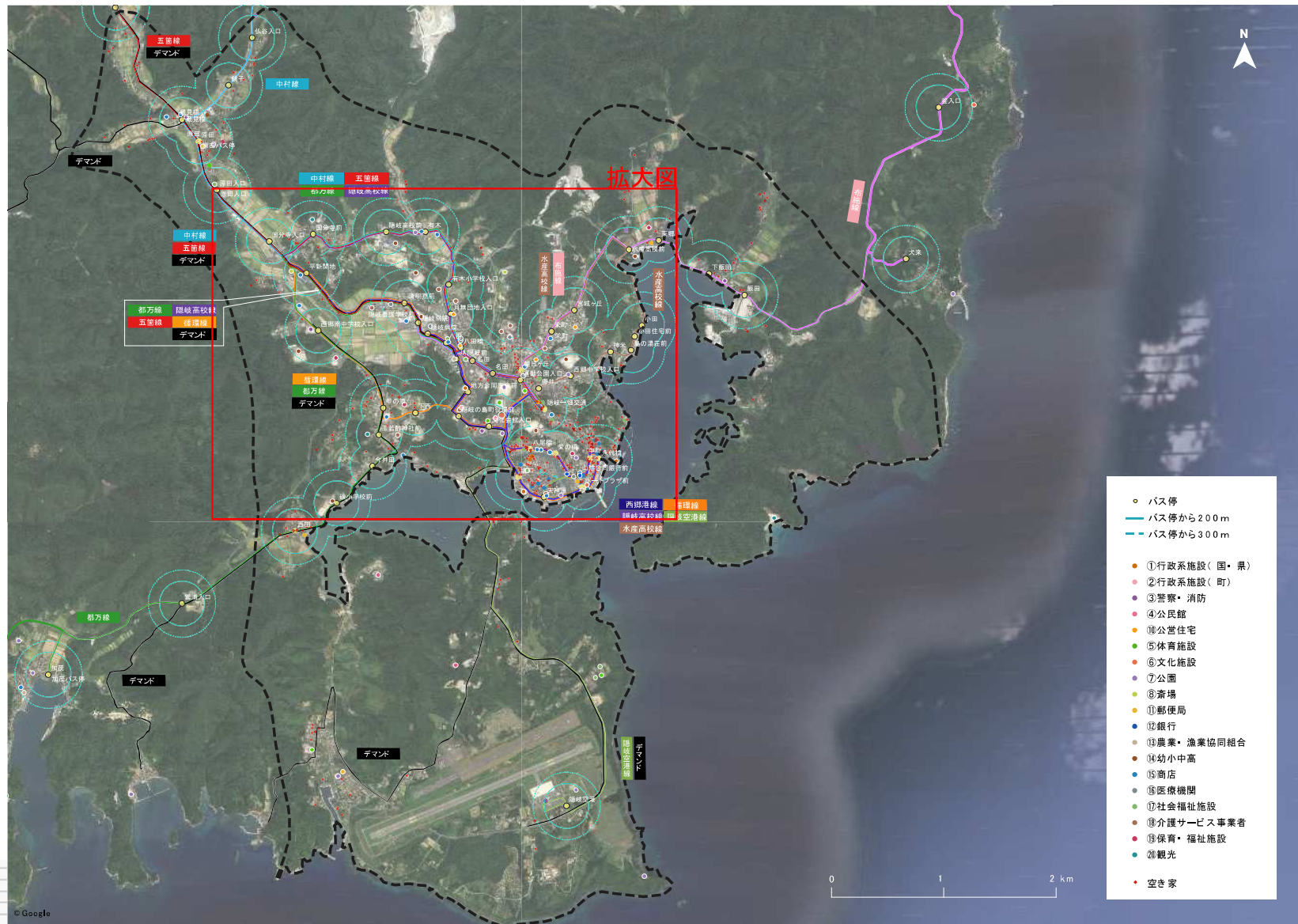
出典)国土数値情報

隠岐の島町の人口が集中する地区は、**都市計画区域内にあり**、
昭和50年代を中心に東側・北側に広がった

年度	S40	S45	S50	S55
DID人口(人)	5,817	5,330	5,067	5,116
DID面積(km ²)	0.6	0.5	0.6	0.9
全域に対する人口割合	35.1 %	36.3 %	35.2 %	34.6 %
全域に対する面積割合	0.5 %	0.4 %	0.5 %	0.7 %



4. 隠岐の島町の現状 <都市計画区域>

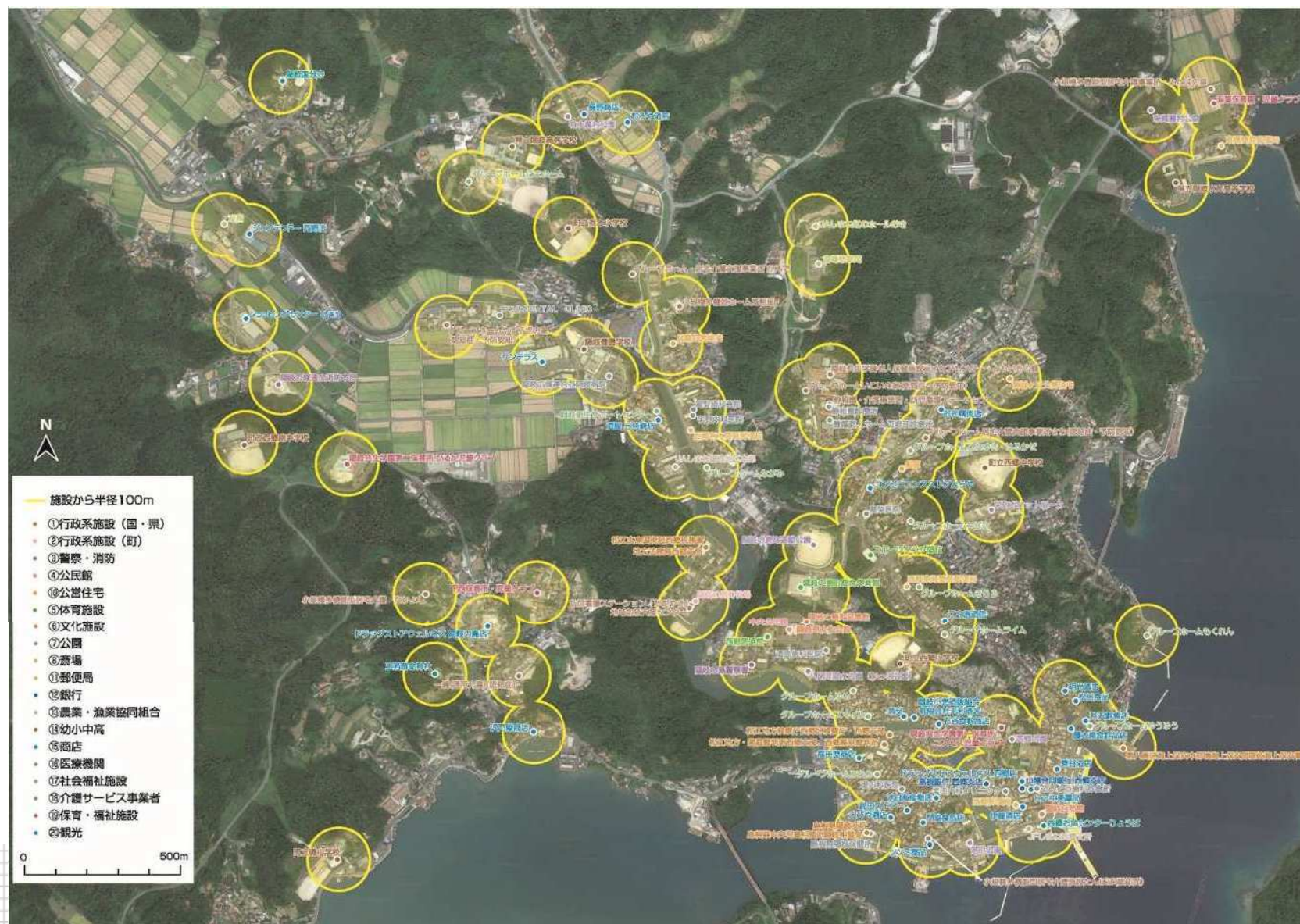


5. 隠岐の島町の現状 <居住地>

居住地、空き家の拡大



6. 隠岐の島町の現状 <都市施設>



7. なぜ今、立地適正化の検討が必要なのか <サービス>

人口減少と高齢化により税収は**減少**↓

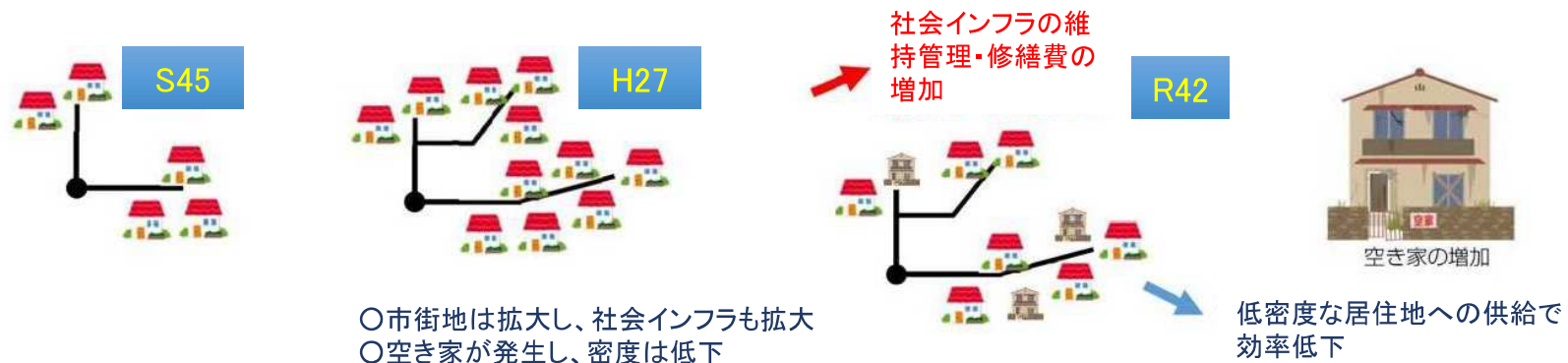
医療・社会保障費は**高騰**↑

⇒現在のままでは「生活の利便性」「行政サービスの維持」が困難になる

■人口と税収



■社会インフラ(道路・水道など)



8. なぜ今、立地適正化の検討が必要なのか

隠岐の島町全体の都市構造を効率的に配置し、生活利便性を考慮した行政サービスを維持するためにはどうすべきか、また、将来のまちづくりをどのように進めていくか理念と方針を明確にする必要がある。

目指すべき都市構造・誘導方針の 検討について

～立地適正化計画検討のポイント～

立地適正化計画検討にあたり

立地適正化計画は、居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等の様々な都市機能の誘導により、都市全域を見渡したマスタープランとして位置づけられる「市町村マスタープランの高度化版」であるとともに、将来の目指すべき都市像を実現する「戦略」としての意味合いをもつものです。

策定のポイントとなるのは、以下の3つとなります。

- まちづくりの方針(ターゲット)の検討

- どのようなまちづくりを目指すのか。

- 目指すべき都市の骨格構造、課題解決のための施策・誘導方針(ストーリー)の検討

- どこを都市の骨格にするのか。都市が抱える課題をどのように解決するのか。

- どこにどのような機能を誘導するのか。

- 誘導施設、誘導区域等及び誘導施策の検討

- 具体的な施設、区域をどう設定するのか。

- 施設を誘導するためにどのような施策を講じるのか。

西郷港玄関口ターミナルエリア みちがえるまちづくり都市再生整備計画



現況模型

西郷港玄関口整備のこれまでと これから

2018年～2020年
「西郷港玄関口まちづくり計画」



2020年～2022年
「西郷ターミナルエリア都市再生整備計画」へ

西郷港玄関口まちづくり計画概要

■西郷港玄関口地域の範囲



西郷港玄関口まちづくり計画概要

■基本理念

港とまちをつなぎ 世代をつなぐまちづくり

～にぎわいと 安心・安全 の実現～



■方針

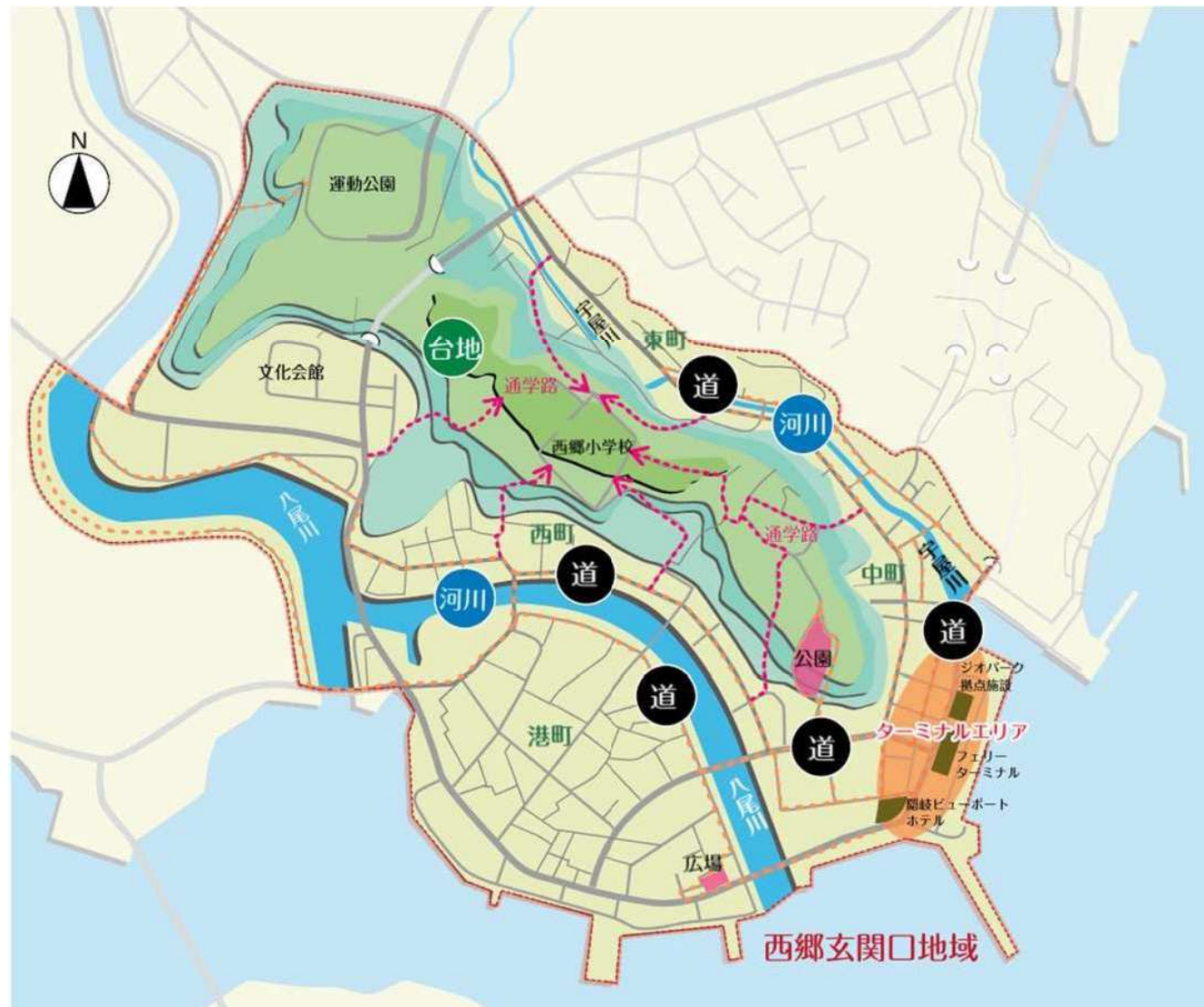
「ターミナルエリアの整備」を核として
「みち」「かわ」「台地」がつながることで、
西郷港玄関口地域の活性化を実現します。



- ターミナルエリアの整備を核
- ターミナルエリアでは、賑わいを創出
- 「みち」「かわ」「台地」がつながることで、地域全体の活性化
- 住み続けていくための住環境整備の検討

西郷港玄関口まちづくり計画概要

■全体の概念図



西郷港玄関口まちづくり計画概要

■ターミナルエリアの整備方針

西郷港玄関口地域再生の拠点であるターミナルエリアの機能を改善・強化

◆海から島内へ続く結節点として、玄関口にふさわしい交通拠点を整備

- ✓ 病院・役場(新庁舎)・商業施設・空港等へ向かう島内交通の結節点
 - バス乗降場、送迎の乗降スペース、レンタカー送迎用スペース、一時駐車スペース等の機能的な配置
- ✓ ターミナルエリアを起点とする魅力的な歩行空間の整備
- ✓ わかりやすい動線の設定やまちの案内板などの整備

◆来訪者がふれあえる交流機能の充実

- ✓ ふれあえる総合的な交流空間の整備
 - オフィス機能、イベントスペース、寄り合いスペース、物販スペース等
- ✓ 来訪者のための宿泊施設の充実
- ✓ 情報拠点の整備

◆にぎわいをもたらす飲食・みやげ・雑貨などが充実した商業機能の強化

- ✓ 来訪者が利用しやすい飲食・喫茶などの充実
- ✓ 商業機能を充実させる各種施策の推進

西郷港ターミナルエリア

みちがえるまちづくり 都市再生整備計画

人と交通の流れを演出する
空間機能のデザインの検討に向けて

みちがえるまちづくりの目標

人と車の流れを変える(みちをかえる)ことにより
西郷港エリアの賑わいを取りもどす

4つのまちとターミナルエリアの関係

ひとが歩いて楽しめる流れをつくりだす

隠岐の島全体とターミナルエリアとの 関係

隠岐の島の内外をつなぐ円滑な交通の流れを
つくりだす

現状と課題の整理

現状の課題について、「まちづくり計画」の認識をベースにシンプルにわかりやすくまとめる

- まち側の玄関口としての整備

- ※港湾道路で分断されている港側とまち側をどうつなぐか課題

- 利用しやすい交通結節点の整備(乗降場の配置と動線)

- ※バス・タクシー・レンタカー・一般送迎者・フェリー利用者等の円滑な移動

- ※行動の起点となる(情報提供の場)の再検討

- 来訪者と町民の交流の空間(イベント空間)の創出

- ※町民(子育て世代・中高生・高齢者など)の目的施設の整備

- ※町民同士や町民と観光客のふれあえる空間の整備

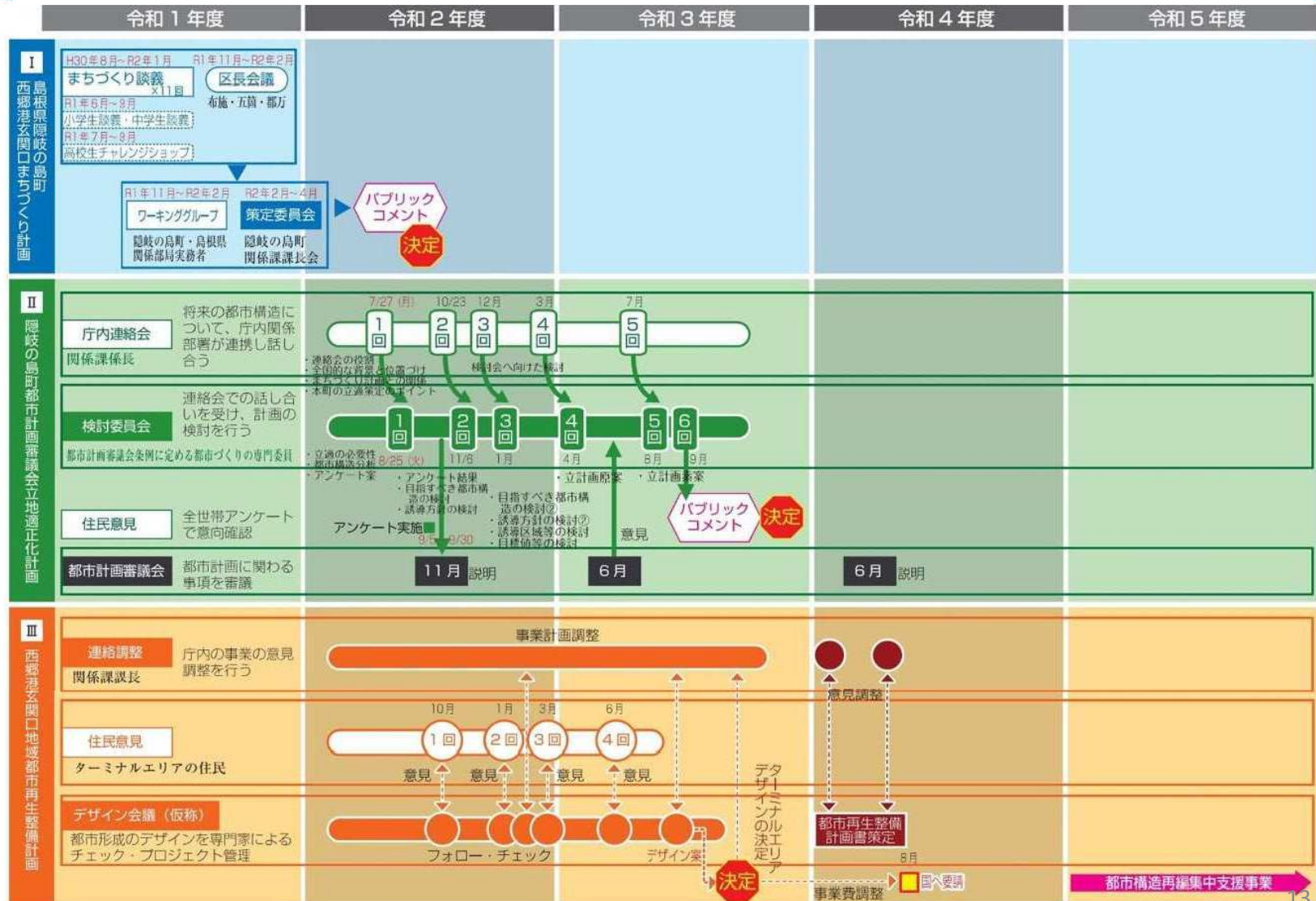
- 飲食・物販(町民も来訪者も)機能の充実

人と交通の流れの充実に向けて

(各種交通の乗降場の望ましい位置は？)

- 一般車の送迎スペース
町民・観光客(旅館やレンタカー等)・タクシー等
- 観光バスの乗降場
- 路線バスの乗降場
- レンタカーの貸出送迎スペース
- フェリー等利用者駐車場
- 飲食店など利用者駐車場

都市計画事業の進め方



西郷都市計画区域内の都市構造の現状を把握するために、令和元年度に引き続き基礎調査を行っています。

都市計画基礎調査は、都市計画区域内の人口、産業、土地利用などの現状や変遷について整理するものです。都市計画区域内のどこに居住し、どういった産業構造を形成しているのか、またその産業を支えるためにどのような土地利用になっているのかなど、都市の構造を数値として評価できるようなデータを整理しています。

■分析イメージ（例）



基礎調査の進捗状況

項目（大分類）	内容	進捗状況
人口	人口規模、将来人口、人口増減の内訳、可住地面積に対する割合など	作成済
産業	産業・職業分類別就業者数など	作成済
土地利用	土地利用現況・農地転用状況、条例・協定、法適用現況など	作成済
交通	バスの状況など	作成済
地価	地価状況分布、地価調書など	作成済
産業2	事業所数・従業員数・売上金額など	作成済
建物	不適格建築物、地区別建ぺい率、世帯人員別世帯数、空き家件数など	データ収集中
景観・歴史資源等	文化財調書、樹林地調書、水辺地調書、文化財分布など	データ収集中